

関西を創造する、気鋭の演出家たちによるトークショー! 全3期。第3期は「進化する表現・気鋭の演出家たち」。

独自の文化で東京に対抗する京都。近年、文化への抑圧が強まる大阪。どの地にあっても、いつの時代も演劇人は「自己と社会とのかかわり」を背景に、あくなきパワーで観客を撃つ。関西を基盤に活躍を続ける演出家たちの作品創造の原点を探る。演劇を創造する人も観る人も、はたまた、教える人も学生・高校演劇に携わるひとにも、必聴の演劇講座。



「自分でもわからない くらいがちょうどいい」

11月12日(月)19:00~20:30 山崎 彬

何回か演出をやってきて最近思うのは、作品のすべての部分に責任をおいつつも、それでいて、その自分の想像力のちょっと先にある『自分でもどうしてなのかわからないところ』に標準を絞った方がいいな、ということです。毎ステージ100人くらいのお客さんがいて、その方々の想像力を引き出し信じる、そうすることで作品がグッと深みを増すとわかったからです。なんかそういう話ができればいいなと思います。

山崎 彬(悪い芝居)

1982年奈良県生。俳優/演出家/劇作家/悪い芝居代表。大学入学と同時に俳優活動を開始し、2004年12月24日、路上パフォーマンスで劇団「悪い芝居」を旗揚げ。以後、2012年現在まで、すべての公演で脚本・演出・出演を担当している。劇団外での書き下ろしや演出、出演も精力的に行っている。2010年「嘘ツキ、号泣」で第17回OMS戯曲賞佳作受賞。2011年「キョム!」で第18回OMS戯曲賞最終選考作品ノミネート。2012年「駄々の塊です」で佐藤佐吉賞最優秀作品賞受賞、第56回岸田國士戯曲賞最終選考作品ノミネート。



ごまのはえ箴言集 「煮えるヤング」

11月19日(月)19:00~20:30 ごまのはえ

私には若い頃などありませんでした。いつも頭が煮えていて快眠などしたことありません。そんな私が17年におよぶ演劇生活のなかで感じた演劇の真理を短い言葉「箴言」にしてお伝えします。共感するもよし、反面教師にするもよし、箴言(シンゲン)と読めた人も読めなかった人もふるってご参加ください。

ごまのはえ(ニットキャップシアター)

1977年生まれ。大阪府出身。佛教大学在学中より演劇活動をはじめ1999年に劇団「ニットキャップシアター」を設立。自ら劇作・演出・俳優をつとめる。一つの作風に安住せず、その時々を感じていることを素直に表現することを心がけている。物語性の強い戯曲を様々な手段を駆使してつくり上げる作品世界は高い評価を得ている。代表作に「愛のテール」(第11回OMS戯曲賞大賞)、「ヒラカタ・ノート」(第12回OMS戯曲賞特別賞)、「ピラカタ・ノート」などがある。今回は新作「strange」を今年12月と来年2月にそれぞれ京都・東京で上演する。



「俳優を決めて、8割終了。」

11月26日(月)19:00~20:30 林 慎一郎

後は、動線とリズムです。自作の演出が圧倒的に多く、純粋に「演出家」としてお話しできるほどの蓄積はありません。あるとすれば、個人プロデュースにして以来、イワユルあて書きをしたことはありません。しかし、お客様からあて書きですか?と問われることがよくあります。そのあたりでしょうか。

林 慎一郎(極東退屈道場)

劇作家・演出家。1977年生。北海道函館市出身。京都大学在学中に劇団結成に参加し演劇活動を開始。解散後、2007年個人プロデュース「極東退屈道場」を発足。2011年、地下鉄に乗り込む乗客たちの独特なモノローグで都市を描いた「サブウェイ」で第18回OMS戯曲賞大賞受賞。劇作家、演出家としての活動の他、現在、戯曲塾・伊丹想流私塾、師範。劇場主催の演劇ワークショップや、小学校、高校の「総合的な学習の時間」などの講師も多数務めている。



「半分ウソで半分ホントの 演出家の仕事」

12月3日(月)19:00~20:30 ウォーリー木下

演出家の仕事の大半は「あなたが必要」「あなたしかできない」と役者に思わせることです。それは半分ウソで半分ホント。そのあたりを中心に演出の仕事の面白さや演劇というものの半分半分加減をお話しできればと思います。

ウォーリー木下(Sunday / オリジナルテンポ)

93年、神戸大学在学中に劇団☆世界一団を結成。現在はsundayの代表で、全ての作品の作・演出を担当。sundayは年に一本の新作を製作。関西で高い注目と動員を誇っている。戯曲家・演出家として外部公演も数多く手がけており、特に役者の身体性を重視した演出が特徴。テキストに関しても戯曲以外のものを使用することが多い。並行してノンバーバルパフォーマンス集団 THE ORIGINAL TEMPOのプロデューサーを務め、エジンバラ演劇祭にて五つ星を獲得するなど、海外で高い評価を得ている。また、11年に日本短編舞台フェス『PLAY PARK』を立ち上げるなど、フェスティバルディレクターとしての顔も持つ。

参加費
(各回)

一 般 ◎1000円
学生 & 高校生 ◎500円 (要学生証提示)

会場には入場定員(30人)がございますので事前予約いただいた方を優先します。
当日お越しいただいてもかまいませんが念のためご予約をお願いいたします。

お申込・お問合せ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

e-mail kansaiblock@yahoo.co.jp

☎080-4025-2202 (関西ブロック事務局)



日本演出者協会

JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎3F TEL: 03-5909-3074 / FAX: 03-5909-3075
E-mail: j_d_a_info@yahoo.co.jp HP: http://jda.jp/

【関西ブロック役員】 菊川徳之助・木嶋茂雄・深津篤史・田中孝弥・井之上淳・堀江ひろゆき・森本景文・今泉おさむ・木田昌秀・坂手日登美・金子順子・山本つづみ・椋平淳・笠井友仁・山口浩章・中嶋悠紀子